

分野	環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	ふりかえり	課題
B (水の風景・水資源)	B-1 身近な水風景を守り育む	施策1 水風景の資源となっている川・池・水田を保全する	ため池保全計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知用水の農業用パイプラインが整備され、農業用ため池の多くがその役割を終えており、現在は、主に、防災の観点から、維持管理を行っている(除草・修繕等)。 ・愛知用水の農業用パイプラインや用排水路、農業用ため池などの農業用施設の適切な維持管理を行うことで、農地(水田)の保全につながると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的取り組みのみが、環境まちづくりプログラムの評価の対象になっている。
	B-2 貴重な水資源を大切にす	施策5 災害時にも役立つ湧き水・井戸を保全する	湧き水・井戸水マップを作成し、災害時利活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画においては、湧き水・井戸水は主要な水源としての位置づけはされていないため、湧き水・井戸水マップの作成に至っていない。(耐震性貯水槽、PETボトル飲用水で備蓄をしている。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的取り組みのみが、環境まちづくりプログラムの評価の対象になっている。 ・施策と具体的取り組みが、うまく対応していない。
C (里山と息づく動植物)	C-2 里山を自然豊かな場としてできる限り残す	施策3 開発と保全に関する規制・話し合いの機会をつくる	里山保全条例づくり検討	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全条例の制定について、現在、市民団体に里山の運営・管理を委託し、適切な保全方法を研究しているが、内容の検討、制定に向けた機運の向上等の課題があり、制定には至っていない。 ・令和3年3月に改訂した「日進市緑の基本計画」では、将来都市像の実現に向けた緑のゾーニングを行っている。 ・保全活動の担い手育成が課題としてあり、まずは里山と触れ合う機会の創出等に重きを置いて、現在取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的取り組みのみが、環境まちづくりプログラムの評価の対象になっている。
E (緑のネットワーク)	E-3 緑あふれる暮らしとその魅力を広める	施策5 総合的な緑化のための制度を充実させる	緑化条例等の制度の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化条例等の制度の検討について、内容の検討、制定に向けた機運の向上等の課題があり、制定には至っていない。 ・市全域において、補助金等を使用した緑化の推進の取組など実効性を高めていく必要があり、現在力を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的取り組みのみが、環境まちづくりプログラムの評価の対象になっている。

分野	環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	ふりかえり	課題	
G (まちなみ・まちかど)	G-3 親しみと安らぎのある まちの景観を育む	施策4	まちの景観を考えた建築・ 整備を進める	景観基本計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・景観基本計画の検討について、内容の検討、制定に向けた機運の向上等の課題があり、制定には至っていない。 ・愛知県屋外広告物条例に基づく許可等の審査や、建築物の建替え時における形態意匠のコントロール等を目的とした地区計画等の策定を支援していくことに力を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的取り組みのみが、環境まちづくりプログラムの評価の対象になっている。
H (みちと足)	H-2 誰もが快適に感じる 歩道をつくり育む	施策3	季節を感じる歩道をつくり 育む	アスファルトでない舗装の 採用	<ul style="list-style-type: none"> ・施策に対して、具体的な取り組みでやれることが少ないため難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の定義が不明瞭である。 ・具体的取り組みのみが、環境まちづくりプログラムの評価の対象になっている。
I (暮らし全般・エネルギー)	I-5 継続的・総合的な環 境配慮を進める	施策7	あらゆる事業活動に継続的 改善の仕組みを広める	ISO取得支援	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでわいわいフェスティバルへの参加は呼びかけをし、自社の環境への取組をパネル展示にてPRする機会を提供してきた。 ・事業者に対して環境配慮に対する継続的な改善の仕組みを広めるなど、十分な情報提供ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の定義が不明瞭である。 ・具体的取り組みのみが、環境まちづくりプログラムの評価の対象になっている。
J (生活と廃棄物)	J-2 物を大切に使う暮らし を広める	施策3	物を大切にする行動や意 識を育む	フリーマーケットの開催支 援	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、市民団体主催のフリーマーケットを開催したり、エコフェスタで公募によるフリーマーケットを開催したことがある。 ・エコドームにある「あいさ」において、不要になった子ども服やおもちゃなどのリサイクルに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的取り組みのみが、環境まちづくりプログラムの評価の対象になっている。